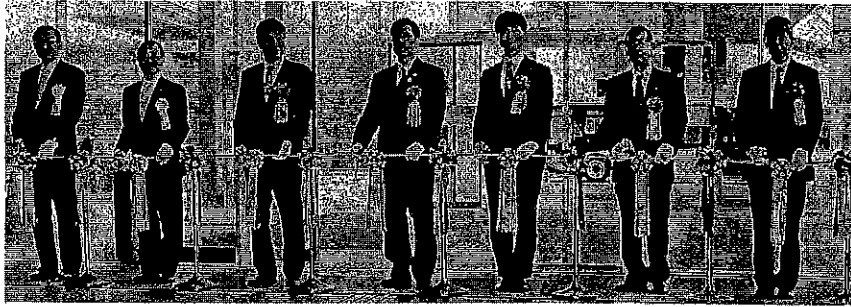


# マイカーから転換 CO<sub>2</sub>排出量削減へ

奈良交通

テープカットする榎田社長（左端）ら16日、精華町のけいはんナインバスセンター



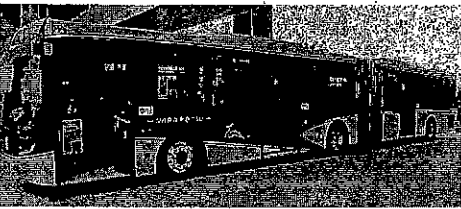
# 学研都市に連節バス

## 30日から運行

奈良交通（奈良市、榎田社長）は、30日から、けいはん学研都市の精華町内で、車両2台を結合した連節バス「Y&E LOW LINE R 華連（イエローライン）がけい」（全長18メートル）を路線バスとして運行する。企業や研究所の従業員らの通勤の利便性向上や、自家用車からの利用転換を図って二酸化炭素排出量の削減につなげる。

## 通勤の輸送力確保

精華町内を運行する連節バス18日、同日のけいはんナインバスセンターでテープカット



同様のバス運行は、関西では兵庫三田市（神姫バス）などに次いで4カ所目。車体色は黄色で、連節部には車体のひびわりに対応する軌（くわ）が付いたら、乗り降りが楽になる。またワンステップ式で、乗り降りが利用可能となっている。

運行コースは、JR学研都市線「祝園」駅（けいその）、「近鉄京都線」新祝園「祝園」駅と光台3丁目間、朝夕に運行される。

16日には、精華町のけいはんナインバスセンターでテープカット式典を実施。奈良の坂野公治近畿運輸局長ら関係者約50人が出席した。

式典で榎田社長は「（連節バスが）輸送力の確保と地域住民らがマイカーから公共バスへと利用転換を図るシンボルとなることを願

歌したいと、榎田社長ら7人がテープカットをして新しいバスの運行を祝った。

# 府内初、連節バス出発

ひかりだいの保研所の子どもで「乗客が乗れる出器する連節バス「Y&E LOW LINE R 華連（イエローライン）がけい」（全長18メートル）がけい



## 学研都市で式典

府内で初めて精華町で連企業立地が、通勤者が行される連節バス「Y&E LOW LINE R 華連」の出発式が16日、運行ルートにあるけいはんナインバスセンターで開かれた。当日は急行として運行された。奈良交通が、JR祝園駅から同日光台3丁目の間で30日に運行を始める。記念公園開、けいはんナインバスセンターを結ぶ。長さ18メートルの「精華・西大津地区」への目までき結ぶ。長さ18メートルの「精華・西大津地区」への目までき結ぶ。

## 30日から運行



最後列から見た連節バスの車内。運転手が立っている位置が連節部

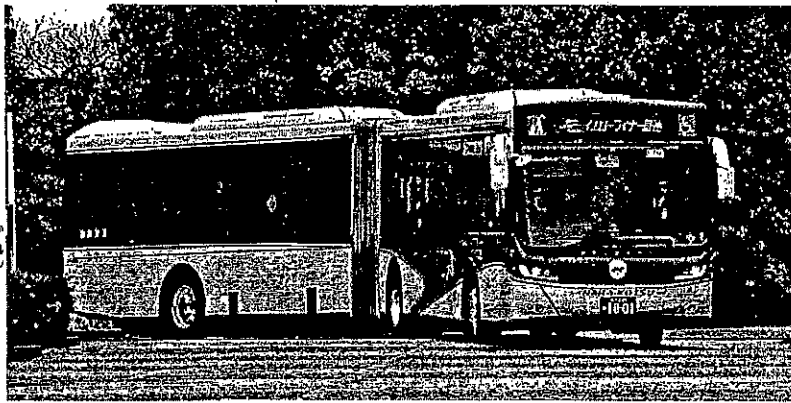
バス車体に対応するため、停留所の拡張なども行った。

今後、光台地区の循環を予定。精華白地区を走るルートや、近鉄けいはんナインバスセンターへの延長を検討されている。

式典で奈良交通の榎田社長は「安全運転を徹底し、サービス向上に努めたい。先進的都市として世界を発信したい」とあいさつ。地元の「ひかりだいの保研所」の子どもたちも送られ、関係者を乗せたバスが出発した。（榎田健）



# 連節バス 30日発車オーライ 奈良交通、学研都市で運行



けいはんな学研都市で30日から運行が始まる連節バス「イエローライナー華連」＝京都府精華町

奈良交通（奈良市）は30日、京都府精華町のけいはんな学研都市内を走る路線で、車両2台をつないだ形の連節バス「イエローライ

ナー華連」の運行を始める。定員は従来の1・5倍となり、平日の朝夕ラッシュ時に走らせる。学研都市には企業や研究

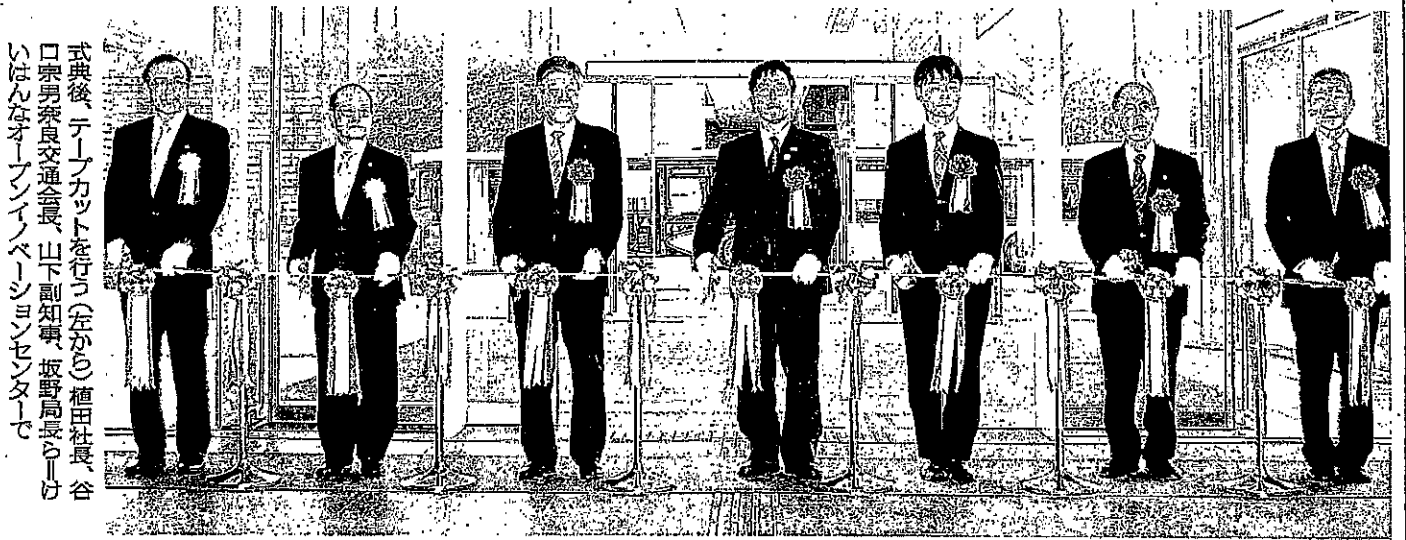
施設などが集積し、通勤人口が大幅に増加。朝夕のラッシュ時に車内の混雑が恒常化している。同社は今後、企業などの進出が続き、需要増が見込まれるとして連節バス2台の導入を決めた。同社によると、近畿では神姫バス（兵庫）や近江鉄道バス（滋賀）、南海バス（大阪）が導入しているという。

従来のバスは全長11メートル、定員83人だが、今回導入する車両は全長18メートルで定員130人。連結部を蛇腹タイプのほろでつなぎ、車内で移動できる。乗車口は前方車両の中心付近と後方車両に2カ所、降車口は運転席の横にある。

JR祝園駅・近鉄新祝園駅―光台3丁目間で運行され、けいはんな記念公園前やけいはんなプラザなどに停車する。片道の所要時間は約15分。

16日に行われた出発式では、府や精華町の関係者が試乗し、乗り心地などを確認した。同社は「多くの

乗客を効率よく運べ、二酸化炭素（CO2）の削減効している。果も見込める」とアピール



式典後、テープカットを行う(左から)植田社長、谷口宗男奈良交通会長、山下副知事、坂野局長ら。けいはんなオープンインベシヨンセンターで

# 「人とまち、未来つなぐバスに」

奈良交通(奈良市大宮町、植田良壽社長)が今春から、京都府相楽郡精華町域で運行を開始する連節バス「YELLOW LINE 華連」の出発式が16日、けいはんなオープンインベシヨンセンター(同町精華台)で開かれ、関係者ら約50人が出席した。

## 奈良交通、連節バス出発式

式典で植田社長が「通勤・通学者の輸送でかかんな「YELLOW LINE 華連」の確保に寄与することにも、マイカーから公共交通にシフトすることによるCO2削減に努力したい。人とまち、未来をつなぐバスとして、地域住民の夢を乗せて走りることができれば」とあいさつ。

来賓を代表して、坂野公治国土交通省近畿運輸局長が「奈良交通は昨年100周年を迎え、今年101年。新しい時代のはじまりにこの連節バスが街のシンボルとなり、親しまれることを」と激励。松岡禎典環境省水・大気環境局自動車環境対策課長補佐、山下晃正京都府副知事、木村要精華町長がそれぞれエールを送った。

式典後には、テープカットと試乗会が行われ、参加者らは華やかでかかんな「YELLOW LINE 華連」の活躍に期待を寄せた。

同バスは、車両2台分を蛇腹タイプのほろつなぎ、従来の1.5倍の人員(約130人)を一度に輸送でき、「華」と連節バスの「連」を合わせ、華やかでかかんなイメージとして「華連」として運行される。

名称は一般公募で行われ、ボディーの鮮やかな黄色を表現した「YELLOW LINE」と精華町の「華」と連節バスの「連」を合わせ、華やかでかかんなイメージとして「華連」として運行される。

式典で植田社長が「通勤・通学者の輸送でかかんな「YELLOW LINE 華連」の確保に寄与することにも、マイカーから公共交通にシフトすることによるCO2削減に努力したい。人とまち、未来をつなぐバスとして、地域住民の夢を乗せて走りることができれば」とあいさつ。

来賓を代表して、坂野公治国土交通省近畿運輸局長が「奈良交通は昨年100周年を迎え、今年101年。新しい時代のはじまりにこの連節バスが街のシンボルとなり、親しまれることを」と激励。松岡禎典環境省水・大気環境局自動車環境対策課長補佐、山下晃正京都府副知事、木村要精華町長がそれぞれエールを送った。

式典後には、テープカットと試乗会が行われ、参加者らは華やかでかかんな「YELLOW LINE 華連」の活躍に期待を寄せた。

同バスは、車両2台分を蛇腹タイプのほろつなぎ、従来の1.5倍の人員(約130人)を一度に輸送でき、「華」と連節バスの「連」を合わせ、華やかでかかんなイメージとして「華連」として運行される。

名称は一般公募で行われ、ボディーの鮮やかな黄色を表現した「YELLOW LINE」と精華町の「華」と連節バスの「連」を合わせ、華やかでかかんなイメージとして「華連」として運行される。

式典後には、テープカットと試乗会が行わ